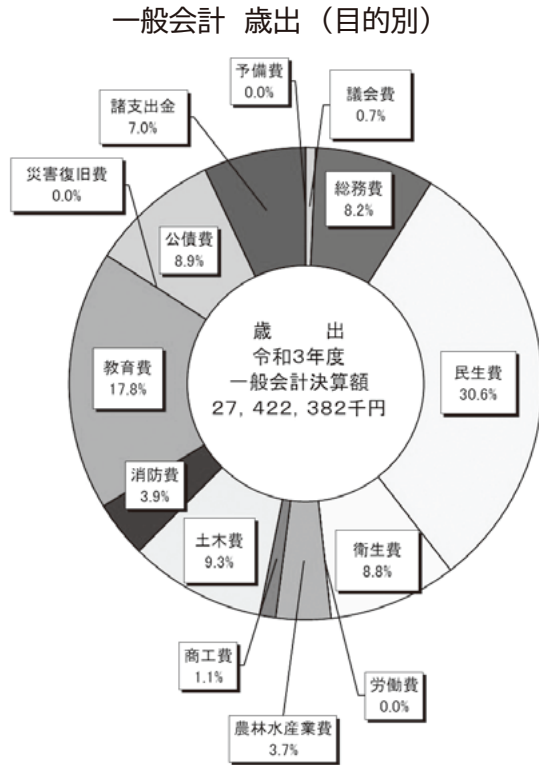


令和3年度 一般会計歳出予算 274億円 を認定

令和4年第3回定例会は、8月31日から9月22日までの23日間の会期で開かれ、令和3年度決算議案を含む31件の議案等を審議しました。健全化判断比率等の説明を受け、市財政の健全度を確認するとともに、決算議案は特別委員会での審査のあと、本会議で採決を行いました。（→議決結果は6、7ページ）

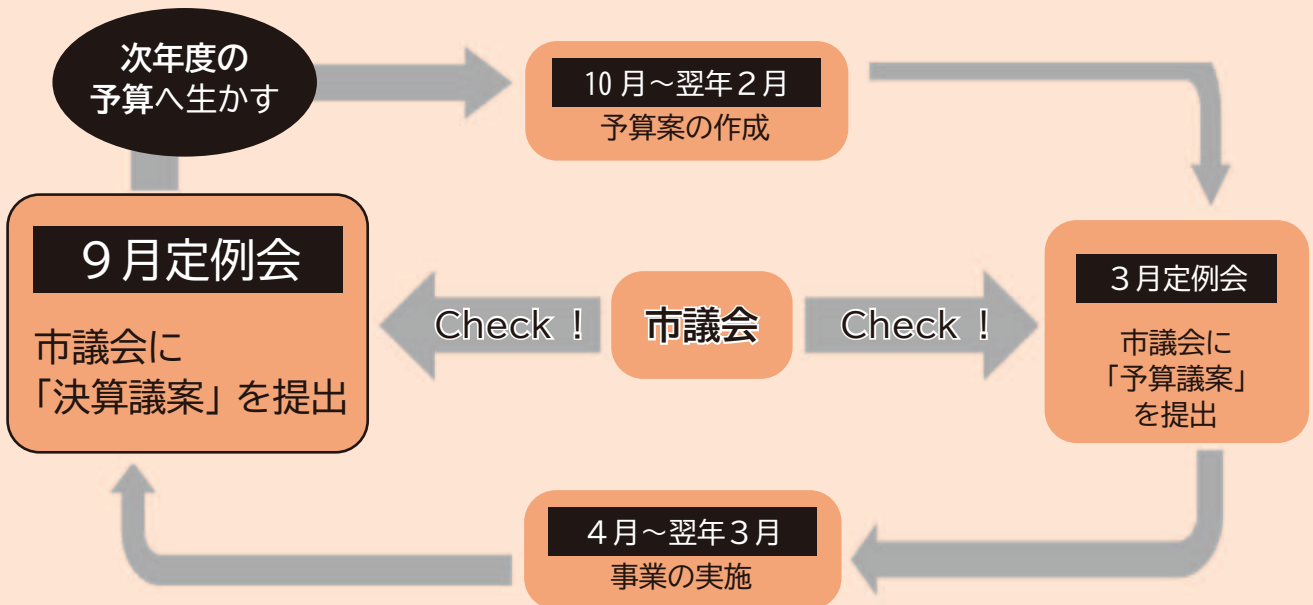


令和3年度 会計別の決算額

会計別	歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比(%)	
一般会計	286億4,008	274億2,238	16.3 ↓	
特別会計	国民健康保険	49億4,833	0.3 ↓	
	後期高齢者医療保険	6億548	1.3 ↑	
	農業集落排水	3億2,697	12.4 ↑	
	戸別浄化槽	3,512	1.2 ↓	
	霊園	1,100	26.1 ↓	
	介護保険	(事業)	40億2,620	5.0 ↑
		(サービス)	756	21.8 ↑
合計	389億235	373億8,308	12.2 ↓	
企業会計	水道	収益的収支	8億683	2.4 ↑
		資本的収支	8億4,602	21.3 ↓
	下水道	収益的収支	11億2,250	1.4 ↑
		資本的収支	10億7,327	4.5 ↓

予算から決算へ そして次の予算へ

決算審査は次の予算編成につなげるための大事な審査で、未来に向けたサイクルの一環といえます。



市財政の健全化判断比率状況

今返済している借金は

実質公債費比率 6.7%

1年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのを見る比率です。この数値が高いと国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

【令和3年度 比率の数値】

借入金を無理なく返済しながら、同時に事業を実施しています。

将来負担していく借金は

将来負担比率 42.3%

1年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのを見る比率です。家計に例えると、住宅ローンの残高が年収の何倍になるかを表しています。

【令和3年度 比率の数値】

国が定める基準を大きく下回っていて良好な結果といえます。

年度別	比率	早期健全化基準
R3	6.7%	25%
R2	7.3%	
R1	7.6%	

年度別	比率	早期健全化基準
R3	42.3%	350%
R2	60.5%	
R1	64.5%	

早期健全化基準・財政再生基準のイメージ図

